

平成24年5月9日

プレスリリース

独立行政法人森林総合研究所
林木育種センター東北育種場

高田松原の松の苗木を地元「高田松原を守る会」に引き継ぎ

概要 昨年5月「高田松原を守る会」（事務局：陸前高田市）から東北育種場に対して、東日本大震災の前（2010年10月頃）に住田町にお住まいの方が集められた高田松原の松ぼっくりから採れた種による、苗木育成の要請がありました。

東北育種場ではこれに対して、昨年5月31日に播種し、育苗を行い、現在、約600本が順調に生育しています。

来年春に、1人前の苗木として陸前高田に里帰りすることとしていましたが、今回「高田松原を守る会」から自らの力でも1人前の苗木に育てたいという強い要望があり、苗畑も整備されたことから、300本を高田松原を守る会に引き継ぐこととしました。

「高田松原を守る会」への苗木の引き継ぎ予定

平成24年5月12日（土）13時00分に東北育種場と高田松原を守る会は陸前高田市役所で合流

その後移動し、東北育種場職員と高田松原を守る会により、育種場で育てた苗木を高田松原を守る会の苗畑（陸前高田市小友町）に床替え

1 経緯

平成23年3月11日の東日本大震災に伴う津波により、奇跡的に残った1本松を除いて、国指定の「名勝高田松原」の全ての松が消失しました。

このような中、前年の10月頃に住田町にお住まいの方が装飾用リース製作のために高田松原から収集した松ぼっくりから種が採れたため、昨年5月に、「高田松原を守る会」から、奇跡の一本松の後継樹育成に取り組んでいた東北育種場に苗木育成の要請がありました。

東北育種場では、要請に応え、国指定の「名勝高田松原」をかたち作った松の種を同年の5月31日に播種し、後継樹の育成を開始しました。

その後、種は6月下旬に発芽し、以降、東北育種場では間引き、施肥、病虫害防除などの管理を行い、現在、約600本、苗高10～15cmの苗木が、順調に成長しており、早ければ、平成25年の春に里帰りを行えるよう管理を行っています。

2 地元「高田松原を守る会」の要請を踏まえた対応

昨年10月、「高田松原を守る会」から、自らの力でも苗木育成をしたいという要望がありました。高田松原を守る会は、平成23年末から陸前高田市内に苗畑を造成するなど、「高田松原」の後継樹の育成体制を整備してきており、また、同会には、育苗の経験者がいることから技術的にも問題ないと判断しています。

このため、今回300本の苗木を守る会に引き継ぐこととなりました。このことは、同会の要望に応えるとともに、高田松原の復旧のために市民の方々が取り組む活動の支えにもなることを期待しています。

今後、東北育種場は、高田松原を守る会による苗木育成に対して、管理技術等の支援を行うこととしております。

なお、残りの300本の苗木については、来春に高田松原に里帰りさせるため、引き続き、東北育種場内で育成を行うこととします。



播種前の種子



発芽状況(6月下旬)

問い合わせ先

森林総合研究所林木育種センター東北育種場

(担当：田之畑、佐々木)

〒020-0173

岩手県岩手郡滝沢村滝沢字大崎95

電話：019-688-4518 FAX:019-694-1715

(担当：田之畑、佐々木)